

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 5 年 6 月 27 日



豊中ロータリークラブ

第 2979 例会

第 2574 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022~23 年度
国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ
(Windsor-Roseland RC)



2022.7~2023.6
会 長 都井正剛
副 会 長 武枝敏之
幹 事 岩本洋子
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日（6月27日）のプログラム

「一年を振り返って」

会 長：都井正剛

副会長：武枝敏之

幹 事：岩本洋子

— ニコニコクイズ —

次週（7月4日）のプログラム

「新年度運営方針」

会 長：宮田幹二

副会長：武枝敏之

幹 事：原 和永

— 2023-24 年度第 1 回定例理事会 —

☆会長の時間☆

「最後に精神科医の独り言」

2022-23 年度 会長 都井正剛

この社会は矛盾に満ちています。社会における矛盾・混沌はあたりまえのことですが国民国家ネーションの一人としてどのような秩序を考えているかということと一人一人が生き生きする社会を考えています。生き生きは幸せとは違います。一人一人は全く違う遺伝子を持って、まったく違う家庭・両親に育てられ、近隣、学校、出会う先生、同級生など本人が選んだわけでなく与えられています。このような全く違う状況で人となり・人格がつくられ誰も変わりようのない個性が出来ます。困窮者、障害者、病人、人格障害者など恐らく苦しく、生き生きしにくい人たちもたくさんいます。同じ言葉話す者同士理解はしやすい一面と錯覚誤解に満ち満ちた一面があります。相手を理解するのは難しいですが付き合うことで、社会とのかかわりで他の人より、自分より相当困った人がいることはわかります。私自身は自分の仕事だけでそれなりの関わりをしていますが、ロータリークラブの活動に少し関わらせていただいて、困った人たち、将来社会へ貢献できる学生たち、その他国際貢献などわずかでしょうが社会がいきいきする方向への働きかけをしている組織だと思えます。勿論自分も困っていることはたくさんありますがやはりかなり自分より困っているひが多いのも分かりこのロータリークラブの存在意義などを感じたりしています。今後もロータリークラブの活動が社会的認知を大いに獲得していくことを願って一年の締めくくりとさせていただきます。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011
例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)
HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/
メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2977回	第2974回
例会日	6月13日	5月9日
① 会員数	30	30
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	24	24
③ 出席義務者出席数	13	16
④ 出席免除者出席数	4	3
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	11	8
出席率 %	60.71%	74.07%

出席率 (2977回) ③+④/②+④ 出席率 (2974回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

・国際ロータリー第2660地区

「2022-23年度 年次目標最終アンケート」が届きました。
「次年度クラブ職業奉仕委員長会議の案内」が届きました。
「2023-24年度 クラブ周年行事の問い合わせ」が届きました。

「ガバナーマン月信7月号(クラブ情報一覧)」が届きました。

「ハイライトよねやま vol.279」が届きました。

「豊中RCは意義ある奉仕賞を受賞いたしました。」

・中之島ロータリークラブより

掲示板

・一年を振り返って(卓話)

会長・副会長・幹事

日時: 2023年6月27日(火) 本日例会時

・ニコニコクイズ 6月27日(火) 例会時

・新旧理事役員懇談会

日時: 2023年7月1日(土) 18:00~20:00

場所: ホテルプラザ大阪十三 19階

“リビエールの間”

・新年度運営方針(卓話)

会長・副会長・幹事

日時: 2023年7月4日(火) 例会時

・2023-24年度 第1回定例理事会

日時: 2023年7月4日(火) 例会終了後

場所: ホテルアイボリー例会場前

・新年度運営方針(卓話)

職業・社会・国際・青少年各奉仕委員長

日時: 2023年7月11日(火) 例会時

・第2回IM第1組会長・幹事会

日時: 2023年7月11日(火) 16:00~

場所: ホテルアイボリー3F 例会場

お知らせ



故 中井稔元会員
のご子息から“中
井稔の軌跡とご挨拶”
を頂戴いたしました。
皆様にご紹介いた
します。

中井 稔

生年月日 昭和7年1月1日

学歴 早稲田大学教育学部 卒業

所属団体経歴

- ・公益社団法人 関西経済連合会
- ・大阪商工会議所
- ・豊中ロータリークラブ
- ・一般社団法人 大阪倶楽部

ご挨拶

青葉若葉の候、みなさまには益々ご清祥のことと存じます。

また、平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社前社長、中井稔の「お別れ会」開催について、本来であれば生前お世話になりました皆様にご来場賜り、個人が歩んだ足跡を皆様と共に振り返るべきところ、故人の生前の強い遺志もあり、止むなく開催を見合わせ、略儀ながら書中をもって生前のお礼かたがたご挨拶申し上げます。

故人は、昭和58年に代表取締役社長に就任後、28年にわたり地域社会に貢献する企業づくりに尽力し、当社の基盤を築きました。平成23年に代表取締役会長を兼務、令和4年、取締役に退いてからも、社員を鼓舞し強いリーダーシップを取り、まさに全社員の支柱であり続けた個人を失いましたことは、弊社にとって痛恨の極みであり、故人の人柄と弊社に残した多大な貢献を思えば、あらためて失ったものの大きさに深い悲しみは禁じえません。

弊社は皆様のお蔭を持ちまして、創業104周年を迎えることができました。「誠実・信念・和合」という個人の理念と遺志は我々役員、社員一同が受け継ぎ、より一層地域社会と社業の発展に邁進していく所存でございます。

ここに個人が生前に皆様から賜りましたご厚誼、ご高配に心から感謝申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中井エンジニアリング株式会社
代表取締役社長 中井 正幸

😊6月17日のニコニコ箱報告😊

お客様

- ・創立記念日おめでとうございます。
名誉会員 木村正治様、北村公一様
OB 篠原厚様
元留学生 Wong Ting sam
- ・吉川先生にお世話になりました。 篠原厚様
- ・写真を頂いて 北村公一様

会員

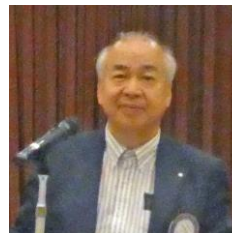
- ・本日の創立記念日例会にご参加の皆様、ありがとうございます。
都井正剛
- ・創立記念日おめでとうございます。
澤木、村司、米田、矢野、矢口、松尾、武枝、都井、
眞下、宮田、岩本、松本拓朗、田畑、松本悟、原、志村、
船橋各会員



🗨️6月13日の卓話🗨️

「一年を振り返って」

職業奉仕委員会 委員長 村司辰朗



職業奉仕委員会の今年度の活動は、職場見学会と職業奉仕月間にちなんでの卓話とフォーラムの二つでした。

職場見学会は過去2回の美術館巡りに引き続き、今回も職業を通して成功を収めた事業人が設立した美術館での美術鑑賞でした。

今回訪ねた中之島香雪美術館は、神戸御影にある香雪美術館に次いで、平成30年3月に新たに中之島にオープンしたものです。江戸末期の三重県に生まれた村山龍平は若干28歳で朝日新聞を創刊し、日本を代表する新聞に育てました。その彼が収集した日本、東洋の古美術コレクションなどを収蔵する美術館です。因みに美術館の名前に冠する「香雪」は龍平の雅号ということです。

職業奉仕月間に因んでの卓話は「職業奉仕月間に寄せて」と題して発表しました。話の大枠は、ロータリーの目的、ロータリアンの行動規範、4つのテストについてでした。

クラブ職業奉仕委員会の会議の中で、各クラブで独自に卓話とフォーラムを開催するよう推奨されていたので、向こう見ずにも自身で行いましたが、お聞き苦しい卓話となったことを反省しております。

その後フォーラムを開催し、武枝ガバナー補佐エレクトに職業奉仕に関するお話をしていただき、参加者の会員にご意見を発表していただきました。

今回自前で卓話とフォーラムを開催したことは、自分自身も職業奉仕について考える機会が持ててよかったことだと思います。

一年間ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

🗨️6月13日の卓話🗨️

「一年を振り返って」

社会奉仕委員会 委員長 眞下 節



2022～2023年度の社会奉仕委員会委員長を務めさせていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。会員の皆さまに感謝申し上げます。2660地区の年次方針には社会奉仕に係わる項目が列挙されていますように、ロータリークラブの目標の軸足は社会奉仕に置かれているように思われます。地区研修

でガバナーが力説されていたのもこの点で、クラブ単位でそれぞれが掲げる社会奉仕の活動内容を積極的に推し進める必要があります。

今年度の社会奉仕委員会の事業内容は、1. とよなか市民環境会議の「社会を明るくする運動」に参加すること、2. 社会奉仕月間において卓話および社会奉仕フォーラムを開催すること、そして留学生支援委員会に協力するかたちで大阪大学の留学生支援を行うこと、です。今年度、「社会を明るくする運動」に参加するかたちで子ども食堂への食材の寄付を行いました。令和4年3月に小川幹事（当時）によって地区補助金の申請が行われ、2660地区から交付された393,176円の地区補助金を含めて80万円分の米とレトルトカレーを中心とした食材を子ども食堂に寄付しました。

今年度の事業2.として、社会奉仕月間の3月28日例会において豊中市社会福祉協議会事務局長の勝部麗子氏を講師に招聘し、「子供の貧困 一人も取りこぼさない社会を目指して～食のアウトリーチの可能性～」のタイトルで卓話をしていただきました。わが国における子供の貧困の現状や孤独を感じている子供の高い割合などから子ども食堂の果たす役割の大きさを知り、改めて子ども食堂の支援の重要性を再認識しました。

当クラブの社会奉仕委員会にはこの3つの事業内容は欠かせないと考えます。社会的意義を考えると、「社会を明るくする運動」に参加するかたちで子ども食堂に対する支援を行うことが非常に重要で価値のあることではないかと思えます。

☞6月13日の卓話☞

「一年を振り返って」

国際奉仕委員会 委員長 横田広司



今年度は、前年度に申請したタイ国のSILOM RCとのGG(2236914)を実施いたしました。実施内容はタイ北部のスコータイ県にあるシーサンウォン・スコータイ病院におけるICU病棟に必要な人工呼吸器と心電図測定装置の寄贈で、プロジェクトの総額は\$47000でした。

4月25日の国際奉仕フォーラムにおいて、今後の国際奉仕活動やGGの在り方について多くのご意見を頂きました。SNSやリモートを利用し現地の状況や活動を会員の皆さんにご覧いただき、より一層親近感のもてる国際奉仕活動にしていければと強く感じました。

会員の皆さん、事務局の松宮さん、一年間ご協力いただきありがとうございました。

☞6月13日の卓話☞

「一年を振り返って」

青少年奉仕委員会 委員長 原 和永



今年度は社会奉仕委員会と協力して、2660地区の補助金も頂き、子供食堂に80万円相当の食材を寄付致しました。

5月23日の青少年フォーラムでは、株式会社脳レボの川谷潤太氏に講師として来て頂き「甲子園・日本一のチームが実践する次世代の人材育成」と題してお話をして頂きました。川谷氏の話の聞き、「現在の教育システムでは子供達の能力を上げることはできない。」と青少年奉仕委員の立場として痛感した次第です。

子供達の意識を外向性に向けて意欲的に活動して未来に向かうように導くことが、私達大人の役目だと思います。

明るい未来に向かう青少年の人材育成として考えさせられる1年でありました。

ありがとうございました。